



21世紀の森と広場

パークセンターだより 第93号 2008年10月・11月号

どんぐりの季節

自然解説員
 加藤 裕一

<人気者どんぐり>

“どんぐり”という呼び名には、なんだかとても楽しそうな響きがあり、それだけで親しみや愛着がわいてきませんか？形もユニークで、帽子とかお椀、あるいは袴などと称される部分に、丸っこい実が少しうずもれている姿はなんとも愛嬌があり、ついつい拾ってみたくなくなってしまいます。拾って眺めるだけでも楽しいどんぐりですが、その他にも、コマやヤジロベエを作ったり、あるいは食べたりと、いろいろな楽しみ方があるのも、どんぐりの魅力です。どんぐりの工作や食べ方を紹介した本、そしていろいろな種類のどんぐりを詳しく紹介した図鑑など、どんぐり専門の本が沢山出ていて、子供から大人まで、幅広く人気があることがうかがえます。

<どんぐりとは？>

普段、何気なく使っている“どんぐり”とは、どんな種類の木の実のことを指しているのでしょうか？どんぐりになる木を図鑑で調べてみると、それらは全て、ブナ科というグループに属していることが分かります。ブナ科というのは、〔ブナの仲間〕・〔クリの仲間〕・〔シイの仲間〕・〔マテバシイの仲間〕・〔コナラの仲間〕などから成りますが、この中の、どこからどこまでを“どんぐり”と呼ぶか



コナラ

「いしかわ森林図鑑」より抜粋

は厳密な決まりは無く、人により多少違います。

個人的な印象では、コナラの仲間 (= コナラ・クヌギ・シラカシ・アカガシ など) とマテバシイの仲間 (= マテバシイなど) の実は、ほとんど例外なく “どんぐり” と呼ばれていると思います。シイの仲間 (= スダジイなど) の実は、“どんぐり” とも “椎の実” とも呼ばれます。一方、クリの仲間 (= クリ) では、そのまま “栗” と呼ばれることの方が圧倒的に多く、ブナの仲間 (= ブナ・イヌブナ) でも、“ブナの実” と呼ばれることが多いのではないかと感じます。

< どんぐりの花 >

公園内には、落葉樹ではコナラやクヌギが、常緑樹ではシラカシやスダジイが多く生えていて、この季節、あちらこちらでそのどんぐりたちを観察することができるようになります。どんぐりがなっているということは、花が咲き、うまく花粉がめしべに届いて受粉できた、ということです。いったい、どんぐりの木は、いつ頃、どんな花を咲かせていたのでしょうか？

実は、どんぐりの花は、コナラやクヌギでは芽吹き直後の春に、シラカシやスダジイでは初夏の頃に咲いています。そしてなんと、雄の花と雌の花を別々に咲かせます。雄の花は紐状～尻尾状で沢山咲くので見つけやすいのですが、雌の花は小さくとても地味で、初めて観察する場合は、これが花なの？という気持ちになってしまうことでしょう。しかしその小さな小さな雌花が、時間をかけて、やがてどんぐりに成長するのです。ぜひとも春から初夏にかけて、どんぐりの花を観察してみてください。



シラカシ

「いしかわ森林図鑑」より抜粋

< 画像：いしかわ森林図鑑 (<http://www.pref.ishikawa.jp/ringyo/zukan.htm>) >

クリスマスローズの園芸作業 ~ 秋 ~

みどりの相談員
丸尾 三恵子

夏の暑さで、ばて気味の株に栄養を補給し、次の季節に見事な花を付けるために行う、秋の園芸作業は、とても大切です。クリスマスローズの手入れのポイントは、まさに「秋」にあります。

また、夏は、日陰^{ひかげ}を好みますが、秋から春は、日光が当たる場所、水はけと風とおしの良い場所^{てき}が適します。

さあ、園芸作業をチェックして、きれいな花を咲かせましょう。

作業	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
肥料	←						→
植え替え		←			→		
株分け	←				→		
古葉取り			←		→		
タネまき		←	→				

・ 肥料

7月～8月ごろから花芽^{はなめ}の形成期です。夏ばてで肥料切れぎみの株に、肥料を与えて、充実した花芽を付けさせます。

・ 植え替え

2年に1回行います。

10月くらいが適期です。根鉢を軽くほぐして、植え替えます。鉢植えの場合は、ひとまわり大きな鉢に植え替えます。

・ 株分け

大株になって花つきや生育が悪くなってきた時に行うと、株の勢^{いきお}いが良くなります。

分けすぎは、株が弱ってしまいますので、2つくらいにしましょう。

下の方からハサミかナイフで、分けます。

・ 古葉取り

暑い夏を越した葉は、葉焼けを起こしていたり、肥料不足で黄色くなっていたり、虫に食害されていたりしています。古い葉は、根元から切り除きます。

これで、花茎^{かけい}が立ちあがり易^{やす}くなり、花が目立って美しく見えます。

・ タネまき

5～6月に採^とって地中^{ちゅう}に埋^うめておいた種^ま子を取り出して撒^まきます。

鉢や育苗箱に赤玉土などの水はけの良い土に撒き、薄く土をかぶせます。

3～4月にかけて本葉が出てきたら、9cmのビニールポットに植え替えます。

パークセンター10月・11月の催し物

催し物名	日 時	定員	講 師	費用	受 付
展示 現代押し花アート展	9月30日(火)～ 10月5日(日)	-	現代押し花アート	-	-
展示 「農とふれあう作品展」	10月7日(火)～ 13日(祝)	-	J Aまつど 女性部	-	-
野草ウォッチング (雨天時は屋内)	10月11日(土) 10:00～11:30	25名	自然解説員 川端 祥子氏	無料	当日
昆虫ウォッチング (雨天時は屋内)	10月13日(祝) 10:00～11:30	25名	自然解説員 吉岡 明良氏	無料	当日
みどりの講習会 「お正月用の盆栽飾り」	10月19日(日) 13:30～15:30	30名	日本盆栽協会公認 講師(松戸支部長) 真嶋 誠一氏	1,500円	10/1～
自然観察会 「木の名を調べて樹名板をつ けよう」	10月24日(金) 10:00～15:00	20名	森林インストラクター 國安 哲郎氏	無料	10/1～
園芸教室 「秋の草花の管理」	10月25日(土) 13:30～15:30	25名	みどりの相談員 青島 尚祐氏	無料	10/1～
バードウォッチング (雨天観察舎)	10月26日(日) 10:00～11:30	25名	自然解説員 直井 宏氏	無料	当日
みどりの教室 樹木の健康診断 ～樹木からのメッセージ～	10月26日(日) 13:30～15:30	25名	樹木医 真嶋 好博氏	無料	10/1～
みどりの教室 「絵手紙で季節の花を描こ う」	10月31日(金) 10:00～12:00	30名	絵手紙わの会 萩原 典子氏	200円	10/1～
自然観察会 「佐々木洋のウルトラア イ!! ～公園にいる生き物 を見つけよう～」	11月8日(土) 13:30～15:30	30名	プロナチュラリスト 佐々木 洋氏	無料	10/15～
バードウォッチング (雨天観察舎)	11月9日(日) 10:00～11:30	25名	自然解説員 今村 裕之氏	無料	当日
園芸教室 「つると木の実のリース」	11月15日(土) 13:30～15:00	20名	みどりの相談員 丸尾 三恵子氏	1,000円	11/1～
みどりの講習会 「冬の寄せ植え」	11月22日(土) 13:30～15:30	20名	千葉県流山高等学 校 横山 和穂氏	1,000円	11/1～
野草ウォッチング (雨天時は屋内)	11月24日(祝) 10:00～11:30	25名	自然解説員 加藤 裕一氏	無料	当日
園芸教室 「そば打ち体験」	11月29日(土) 13:30～15:30	20名	みどりの相談員 野口 宣二氏	1,500円	11/1～

申込が必要な催し物につきましては、電話または直接パークセンターまでお申込下さい。
予定に変更が生じる場合がございますので、詳細はパークセンターまでお問い合わせ下さい。

耳をすましてみよう

自然解説員
いまむら ひろゆき
今村 裕之

人間には五感(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、
触覚)があります。聴覚もその一つ、耳か
らはいろんな音(声)が入って来ます。電車、
自動車、工事現場等の騒音も耳から入って来
て不快な思いをすることもあると思います。

また、スズムシの鳴声、小鳥の囀りなど
心に響き心と和ます声もあります。

まだ寒い北風の吹くような季節でも風の
ないぼかぼかと暖かな日にはヒバリの囀り
が聞こえます。このころのヒバリは少し土が
高くなった所で囀ります。天高く囀るヒバリ
はもう少し先になります。ヒバリの囀りはと
ても長く囀ります。息を吐きながら声を出す
のと、吸いながらも声を出せるのでとても長
い囀りになるのです。



オオヨシキリ

21世紀の森と広場には、畑や草地が少ないので上空を囀りながら通り過ぎて
しまいます。

鳥は近くで囀ってくれるとはかぎりません。遠くで囀っている時など、かすか
にしか聞こえないときもあります。その時はダンゴのように耳を大きくするので
す。耳のうしろに手をやるとだいぶ大きく聞こえますよ。

4月になると夏鳥が渡って来ます。チョチョビー(焼酎一杯グイー)とセン
ダイムシクイが、甲高い声でヒーツキ ヒーツキ ヒーツキとエゾムシクイが、
ピッコロ ピルルとかオーシートクツクとかキビタキの囀りも聞かれます。ツキ
ヒホシ ホイホイホイと尾羽の長いサンコウチョウも囀りますが少数です。

日本三銘鳥のウグイスは皆様ご存知のホーホケキョ ケキョ ケキョとくり
返し囀ります。自然生態園では7月頃まで囀っているときがあります。ケケケケ
ケッキョ ケキョ ケキョとウグイスの谷渡りと言う声も聞かれます。繁殖期の
警戒声なのですが、繁殖を確認することはまだ出来ていません。

キョロン キョロン ツイーとアカハラがまだ暗いうちから囀りますが、公園開園後も聞くことができます。

水辺ではキュリリリリ・・・とカイツブリが鳴きます。水面に羽をばたつかせながら縄張りなわばを宣言せんげんしています。最近は繁殖の確率が悪くなっていますが。

ツイーと金属的な声で鳴きながら水面近くを直線的に飛ぶのはカワセミです。飛んだときの後姿などまるで宝石です。

ツピッ ツピッと雌めすを追いかけながら鳴く時もあります。

自然観察舎内でカワセミを探す時は目で見つけなければなりません、湿地しっちの観察会かんさつかいでは耳で探すことができます。是非観察会へ参加されることをお待ちしております。

今年（6月）はカワセミのヒナが3羽観察舎から確認されました。親鳥がヒナに魚を渡しているところなども見られました。

この公園で繁殖する鳥はカイツブリやカワセミだけではありません。ギイーと鳴きながら飛ぶコゲラは枯れた木に真ん丸まんまるな巣穴すあなを掘ります。ツウピー ツウピーとシジュウカラが、ピーッツ ピーッツとヤマガラが囀ります。シジュウカラやヤマガラは使い終わったコゲラの巣穴を利用して繁殖します。

木の梢こずえではチョッピー チリーチョ チーチュク（聞きなしでは一筆啓上いっぴつけいじょうつかまつり候そうろう）とホオジロの囀り。チーチュル ピーチュル 忠兵衛ちゅうべい 長兵衛 長忠兵衛と囀るメジロ達は自分で皿型さらがたの巣を作ります。

葦原あしはらではギョギョシ ギョギョシ ケケケ とオオヨシキリが囀ります。以前は繁殖していたのですが最近では確認できていません。

小鳥達の繁殖が終わるころにはセミの声が聞こえて来ます。7月に入るとヒグラシ、ニイニイゼミが、8月にはアブラゼミ、ミンミンゼミが、8月下旬になるとツクツクボウシが鳴きます。湿地の観察会ではツクツクボウシの声で鳥の声が掻き消されるほどです。



ホオジロ

9月になると夏鳥が南へ帰ります。この時ばかりはいくら耳をすましても声が聞こえてきません。

この公園で休息きゅうそくして行く鳥にはツツドリ、ヨタカ、エゾビタキ、コサメビタキ、キビタキ、メボソムシクイ等々たくさんの鳥がいます。でも、留鳥りゅうちょうのモズちがは違います。キー キーキキキと広場全体に聞こえるかのように高鳴きします。



ヨタカ

10月も下旬になるとヒッヒッヒッヒッとジョウビタキが渡って来ます。これからは冬鳥の季節です。ジョウビタキは雄おすも雌もヒッヒッヒッと鳴き縄張りを主張します。年が変わる頃には自然観察舎近くには雌が縄張りを張ります。もう3～4年変わっていません。

月夜つきよの空を鳥が鳴いて飛んで行くのを聞いたことがありますか？月明かりがなくても星きれいの綺麗な夜などもツグミやシロハラの声が流れて行きます。何羽もの声が聞こえるので群むれで渡っているのでしょう。鳥目とりめと思われている小鳥でも渡りのこの時期には夜飛ぶのです。

落ち着いたツグミは畑や芝生で餌えさを探します。このころのツグミは暗くなると林の中とか家庭の庭木とかで夜休んでいます。おやすみ・・・



湿地の観察会のご案内

自然生態園内にある木道を、自然解説員のガイドを聞きながら散策する観察会を実施しています。皆様のご参加をお待ちしております。

- 【実施日】 土・日曜日・祝日
- 【実施時間】 午前10時～・11時～
午後1時30分～・2時30分～（各回30分間）
- 【定員】 先着25名（当日受付）
- 【受付】 自然観察舎 窓口（開始時間までにお申込下さい）
- 【電話】 047-340-4140

大雨等の都合により実施出来ない場合がございます。





みどりの相談室



パークセンター「みどりの相談室」では、相談員の先生が園芸に関するさまざまな質問に無料でお答えします。電話でもお受けしていますのでお気軽にご相談下さい。

- 【相談日】 水・土・日曜日と祝日
- 【時間】 午前10時～12時・午後1時～3時30分
- 【電話】 047-345-8738 ハナミツバチ

年末年始、8月のお盆時期は相談をお休みさせていただきます。また、都合によりお休みさせて頂く場合がございます。



ご来園の皆様へお願い

- ・動植物の採取、鳥などへのエサやりはしないで下さい。
- ・ゴミの持ち帰りをお願いしています。
- ・ペットの入園はご遠慮いただいております。
- ・自転車、キックボードの乗り入れは禁止されています。

安全・快適に公園を利用していただくため、皆様のご協力をお願いします。

発行日：2008年10月1日
 発行：21世紀の森と広場パークセンター
 開館：9：00～16：30
 （11月1日から、2月末日までは）
 9：00～16：00
 月曜休館（祝日開館/翌日休館）
 〒270-2252 松戸市千駄堀269
 TEL 047-345-8900
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/>



21世紀の森と広場シンボルキャラクター
ドンちゃん・グリちゃん